

(前頁より)

- 阿部(寿)さん:
Q: 何でバザーは10月末にどこの教会も集中するのか? アンケートか何かで聴けないのか?
A: 従来から、10月最後の日曜日が皆さんの都合が最も良いとのことで、こうなっている。
お天気、学校行事との重なり、懐具合、・・・とにかく、いろいろ検討していく。(福島さん)
- 福島さん:
Q: 教区の決算ソフトが配布されるようになる。そろそろパソコンを導入したほうが良いのでは?
A: 是非その方向で検討したい。(甲斐さん)

↑拍手をもって、決算、予算、および全ての提案が承認された。

□終わりの言葉と祈り(阿部副委員長)

阿部副委員長より、婦人同志会に2万円を献金をするに至った経緯に説明あり。加えて、梅村司教様から「山崎神父様を宜しく」とのお言葉があったこと、阿部さんから「教会一丸となってやっているので大丈夫」とコメントされたことの紹介があった。



委員会だより

<1月7日(日) 11名出席>

【1】財務報告:

信徒総会(1/21)に向けてすでに「決算書」ができていますので、12月の財務報告としてはおこなわれなかった。

【2】議事内容:

- (1) 平成12年度年間決算書の報告と検討
詳細の説明は、総会当日甲斐委員から行なわれるが、委員会としてはこれを承認した。
- (2) 平成13年度予算案の検討
委員会で審議の上決定した予算案については、総会当日甲斐委員から提示される。
- (3) 平成13年度教会行事予定の検討
平成13年度から、今まで婦人会行事として11月初金曜日に行なわれていた「死者のためのミサ」を、教会行事として執り行うことにして年間行事予定に加えた。
- (4) 信徒総会プログラムの検討
提示された原案を承認。
会計監査は東原氏にお願いすることを承認。
- (5) 成人式のお祝いについて
1月14日のミサの中で行う。ミサの後集会室のサロンでお祝い会をする。
- (6) その他
・現在神父様のご使用の携帯マイクがうまく機能しないため、朗読台のマイクと交換してみる。
・クリスマスの時の「馬小屋」を新しく作りかえることを、目下七浦氏が検討中とのこと。材料など協力できる方はよろしくお願ひします。

壮年会だより

都合により次号に掲載いたします。

婦人会だより

平成13年度総会・新年会
<1月28日(日) 33名出席>



- 平成12年度活動報告(資料参照)
- 平成12年度一般及び特別会計報告(資料参照)
- 会計監査報告(楠田さん)
- 新役員の紹介と新旧会長挨拶
- 委員会報告(松下さん)
- 平成13年度・1月例会
 - ① 会費は引続き月額100円で承認。
 - ② 行事計画は、今回配布のアンケートの集計結果を待って、3月例会以降に検討を進めるということでした。
 - ③ 従来行なってきた11月の「婦人会物故者のためのミサ」が、今後教会行事として「すべての物故信徒のためのミサ」として行なわれることになったのに伴い、細則の3が削除されます。
 - ④ 繰越金(約50万円)の用途についての討議
 - ・一粒会への会費を年額1,200円から12,000円に増額する。
 - ・今後教会内の修理工費がかさむことが予想されるので、その際に補足することができるようプールしておく。
 - ⑤ その他お知らせ
 - ・松尾しめ子さん、甲斐ミヨ子さんがご入院され、婦人会よりお見舞をさしあげます。
 - ・永田麻里さんが汲沢に転居されましたので、地区がC地区からB地区へ移ります。

続いて新年会にうつり、旧会長の音頭取りで乾杯。前日からの大雪で欠席者が相次ぎましたが、神父様もご同席くださり、中谷さんの大正琴演奏やゲームで和やかに楽しいひとときを過ごしました。

次回例会は2月18日(日)、次回当番はC地区です。

お知らせ

成人式

おめでとうございます。1月14日

上野恭輔さん、滝川信歩さん、山田桂一さん

灰の水曜日

2月28日午後6時から。

去年の枝を持ってきて下さい。

ミサ 当番表 (2001年2, 3月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
2/4	年間第五主日	壮年会	岩 淵
2/11	年間第六主日	青年会	森 脇
2/18	年間第七主日	婦人会C地区	森 田
2/25	年間第八主日	壮年会	保 科
3/4	四旬節第一主日	壮年会	岩 淵
3/11	四旬節第二主日	青年会	森 脇
3/18	四旬節第三主日	婦人会D地区	森 田
3/25	四旬節第四主日	壮年会	保 科

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: TEL 802-6258)迄お申し出下さい。

広報 なかわだ

第266号

今月の予定

- 委員会 2月 4日
- 灰の水曜日 2月 11日
- 壮年会、婦人会 2月 18日
- サロン 2月 11, 25日
- レジオ 2月 9, 16, 23日



2001年2月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
平成13年2月11日



退院のあと ④

山崎 正俊



神様はいつでも、私たちをお守りくださっています。何度でも、そのことを教えてくださっているのです。安心しておることができました。時々、とても不安になりますけれども、それほど気にすることは無いようです。この頃は、淋しくなります。たしかに、この世をおさらばすることを思ったり、去る日が近いことを感じたりしますので、その日のことを、あれこれと悩みます。何日かはその日が私のうえにも来ることになるのを思い出すからです。

昨年四月ですが、突然歩きにくくなり、わけがわからないのに、半年ばかりも入院させられ、ただ、困ったことがあったのですが、医者の方も、わけがわからなかったようで、これといって、はっきりしたことも言えず、何か薬を飲ませながら、様子を見ているだけのことで、適当にあしらっていたようでした。同室の人たちの苦しみや不満を聞かせられたり、看護婦さんの報告を資料にして診察をしていましたが、体調が安定したら、即、退院。

あれから、五ヶ月近くたつと、もっと楽になると、隣のメディカル・センターから、毎週きまった曜日に訪問してくれる係りの人があって、リハビリと入浴の世話をしてくださるお方が、私を安心させてくださる。信徒のうちの数人のお方たちが、忠実にご奉仕してくださる。なんと有り難い毎日がつづいて、残りの日々も、その役を果たせるのに好都合になり、なんの言うこともない。神様のおはからいのすばらしさ、これまで気がつかず、不満ばかり感じていたとは、不肖の子もいいところ。

あれは、神学校に行く決心をする前、鉄道の保線係として勤めていた頃のことでした。休みの日の午後は、小田原発沼津行きの列車で、岩波文庫を読みながら、静かさを楽しんだものでした。その日は客の数は少なく、私の筋向いには、お医者さんらしい紳士が四人、他に客がいないのをよいことに、あたりはばかりめ大声で歓談しておられました。その話されることをまとめると、こうなります。一私の病院が繁盛しているのは、その技術が、来る人の心を捉えて離さないのではなく、ご存知のように、結核の病院を探して探しあぐねて来られた方で、病人はどのような症状であるかを教えられ、力のない咳をすとか、微熱がつづくとか何とか、よいかげんなことを吹きこまれている。そこで、肺尖(ハイセン)とか、肋膜炎(ロクマク)の下のほう、聴診器と触診によるテイネイな診察と、それからタメイキ。粉薬の消化剤と水薬のハツカ水のようなもの、明後日のこの時間ぐらいいらっしゃい。おだいじにの優しい声。これぐらいいの約束で、十日もすれば、軽い肋膜炎ぐらい。しばらくしたら、空気のよい処への転地療養。「あんなにひどかったものが、これぐらいいとは、有り難い名医の名をたてまつられる」。めでたし。めでたし。

(2001. 1. 21)

壮年会会長就任にあたり

平成13年度・壮年会会長 福島 清

"21世紀か" つぶやいて見る。

いつも迎える新年と何かしら異なり、大きな変化のうねりを予感させられる年を、感謝のうちに迎えました。

みなさんも、それぞれ思いを新たに、良い年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

このたび、壮年会会長と言う大役を引き受ける羽目に陥り、生来気楽な私は、引き受けた後になって、本当に大丈夫かな、やっつけられるだろうかと、反省しきり。

壮年会の活動は、あまり目立ちませんが、教会の運営、行事は婦人会とともに、協力し合っていかなければ、成り立ちません。また、当教会以外での活動の場も多く、これらの活動状況は、壮年会の平成12年度の年間活動報告や、毎月の広報なかわだ、の壮年会だよりにてご存知のことと思います。

会員の皆さんの顔を思い浮かべ、また前任の役員さんの強いバックアップ公約を戴き、宮崎副会長、橋会計とともに、楽しい、頼もしい、壮年会になるよう、微力を注いでまいります。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

就任に際しての一つの心がけ。

「毎月の壮年会に、出来るだけ多くの会員が、ちょこっとでも参加して頂けるように声をかけます。」



支え合い、生かし合って

平成13年度・婦人会会長 岩崎 好愛

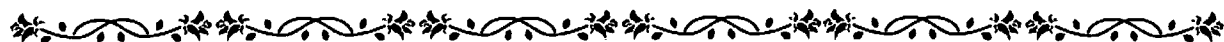
神の特別の恵みの年、大聖年が終わりました。

これから始まる新しい千年期のスタートの年に、会長の役割を与えられたことを恵みとして受け取るべきか、戸惑いの中でもかたくスタートいたします。

近年、婦人会会員の平均年齢が年毎に上がってきていることや、その他いろいろな複合的要素がからみあって、今回も役員がなかなか決まらないという状況がありました。

このような中で、将来を考えていくためには、まず現状を把握することが第一と考え、私はスタートに当り「アンケート」をとらせていただこうと思いました。お一人おひとりが本音を書いてくださり、それを通して支え合い、生かし合う素地がさらに婦人会の中に育っていくことを目指したいと思えます。

神様の導きを祈りのうちにキャッチしながら、役員メンバー、そしてみなさんと共に楽しく過ごせたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



壮年会役員退任のご挨拶

竹内 広治・下村 毅・山田 孝信

在任期間の2年間は、またたく間のことでありました。壮年会という組織を通じて、会員の皆さん方のつながりをより一層強めるため、触媒、もしくは潤滑油として働き、円滑な作用で効果を高めるには、如何なる行ない、如何なる語らいを具体化すべきか、浅薄の身を顧みず、およその勝手も判らぬままお役を引き受けて以来、それがなかなか解き得ない宿題となって背中になり、いままずっと背負ったままの有様です。

いよいよ次の方々にお役をお任せする時節を迎えました。思えば未熟で不慣れな私どもが、初めの頃、様子も判らず、ベースも掴めず、ただ「やみくもにあれこれ意気込んではみたものの、徒らに騒がしいばかりの状態が、会員の皆さんにはかえって煩わしく感じられて、ご迷惑だったのではなかったかと、自省することいきりでございます。

ただ近頃嬉しいことに、何人かの会員から「ご苦労様でしたね」と声をかけられ、労われました。誠に嬉しい極みでしたから、思わず心の中で反芻してしまいました。けれど嬉しさの反面、面映い気持ちが心を揺すります。至らない自分たちが恥ずかしいからです。「大過なく」という言葉がありますが、それはあまり進歩もしていないとの意味もあるわけですが、ともあれ大過なく任期を終えることとなりました。すべては、理解ある山崎神父様や会員の方々のご指導とご協力のおかげと深く感謝致しております。

個人的に言わせていただければ、おかげさまで皆さんの顔やお名前を覚える機会に恵まれました。私にとって教会は、心のオアシス、慰めと癒しの庭なのです。希望と信仰を同じくする仲間が打ち揃い、安らかな語らいの内に過ごせる日々を夢見しています。

終りにあたり、私どもに寄せられたご厚情に対し、厚くお礼を申し上げます。



婦人会役員を終えて

松下ツヤ子

大聖年の記念すべき年に、婦人会会長としての一年間を、皆様の暖かいお心に支えられ、無事終えることができました。これからの婦人会も、一人一人のタレントを出し合って、活動に協力していただきたく思います。

感謝のうちに。



平成13年度 信徒総会議事録

(1月21日10時30分～ 出席者約40名)



萩原さんの開会宣言とお祈り

山崎神父様のお話

山崎神父様から、入院に至るまでの経過と快癒までの経過のお話あり。信徒各位の心配り、協力に感謝のお言葉がありました。

議長挨拶

花坂委員長より、

◆例年より教区の会計監査/指導の都合上、1週間総会を早めた経緯の説明、

◆山崎神父様ご入院にも関わらず、大事な諸行事を無事を梅村司教様はじめ多くの神父様方の協力で乗り切れたこと

◆委員今年は留任、来年は改選、

◆総会では私語は謹んで、運営に協力して欲しい旨の話がありました。

平成12年度一般財務収支決算報告(甲斐財務委員)

◆一般会計: 収入: 7,012,261(6,257,868) 支出: 6,038,881(6,157,868) 収支差: 973,380(100,000) 注: ()内は年度予算。以下同様。

◆月定献金はほぼ予算通り。

◆支出: 予算と乖離が大きかった項目は次の通り。

ミサ謝礼515,000 予算60,000と大きく乖離 (これは神父様入院に伴い、他の神父様にお問い合わせしたごミサ件数が多かったため)

修繕費: 大きく乖離(照明器具交換、オルガン修理等)

賄い謝礼-神父様個人の給与から支払う形(税務上の配慮; 補足説明後述)

渉外費 -- 資料記載の通りやむを得ない支出

建設会計・愛の献金報告(甲斐財務委員)

◆建設会計: 収入: 4,133,564(3,356,956) 支出: 3,956,890(2,795,000) 収支差: 176,674(561,956)

◆繰上返済をしており、返済後の借入金残高は390万円。

◆神父様居室改装400,000と手すり・すのこ工事で306,000を支出。

◆愛の献金: 収入: 659,626(780,065) 支出: 291,762(320,000) 収支差: 367,864(460,065)

◆予算69口に対して54口。一般会計に変えられた信徒の方もおられた。

平成12年度会計監査報告(東原監査役)

◆収支はもとより、資料も教区報告を含めて完備されていることを確認した。

◆活動内容は、昔とは比較にならない程多岐にわたっている。税法上の対応も厳しくなっており、財務委員の常任スタッフを置くことを提案する。

平成12年度信徒会会計報告(甲斐財務委員)

◆収入: 818,826(619,375) 支出: 574,306(440,000) 収支差: 244,520(179,375)

◆バザー-収益は合計644,372でバザー-関連支出は景品、食器等66,053。

◆建設献金として400,000を建設会計へ移行。

◆また、社会福祉協議会(3万円)、婦人同志会(2万円)を寄付金として支出。

平成12年度一粒会会計報告及び事業報告(宮崎一粒会委員-資料配布)

◆前任委員からの引継ぎがうまく出来たことを関係者に感謝。

◆行事としては

H12-2月 第一回第五地区会合@大船教会

H12-6月 第二回第五地区会合@原宿教会

H12-8月 第五地区共同の祈り

H12-9月 第33回横浜教区一粒会大会

H12-12月 第五地区内祈りのリレーなど。

◆平成12年度の収入(=本部送金)実績は320,413。(会員数は80名)

◆過去の10年間の推移: 1995年度をピークとして概略減少傾向、更なる協力をお願いする。

◆横浜教区の目標は 2名/年

◆その他高齢司祭のための施設を今後計画 大阪ではすでにやっている由。

平成13年度予算案説明(甲斐財務委員)

◆一般会計: 収入: 6,073,380 支出: 5,297,000 収支差: 776,380

◆月定献金、ミサ献金は2000年度なみ予算を設定

◆特別献金、神父様図書費などに見合う程度

◆ミサ謝礼は10回程度をみこんでいる

◆修繕費は、傷みが進んでいるので少し増額して10万円とした

◆2月でコピーのリース期間が満了する。賃借料年間合計は35000でよい。

◆建設会計: 収入: 1,876,674 支出: 1,817,000 収支差: 59,674

◆バザーからの入金30万円を予算化している。

◆借入金の繰上げ返済は、今年度は無理。

◆返済満了H19-12年だったが、4年位の前倒し見込

◆電気関係の補修が多く、40万円の支出を見込む。

◆愛の献金: 収入617,864 支出320,000 収支差297,864

◆収入は昨年度実績なみ。

◆信徒会計: 収入744,520 支出510,000 収支差234,520

◆収入ではバザー-収益50万円を予算化。

◆支出は建設献金300000、他。

第五地区戦況委員会活動報告(石井宣教委員)

◆年に3回例会がある、湘南セミナーなどが活動内容。

◆去年の活動で大きいものを2つ報告する。

1) 2000年という節目-第五地区として2/20聖母の園巡礼企画委員会が出来た。10月14日にこのイベントが開催され、非常に好評だった。各教会が準備や手伝いを行った(中和田は受付を担当)。350名の予想を越えて500名が参加した。

2) 湘南セミナー: かなり定着してきた。藤沢教会の段取りも非常に良かった。本年度のこのテーマの担当は小野寺さんをお願いした。

中和田で開催することは現状では無理。その他お手伝い出来ることの模索も含め、小野寺さんに委員をお願いした。

◆本年度清尾さんが退任、後任は内藤さんに受けて頂いた。小野寺さん-内藤さん-石井さんの体制で13年度は臨む。

平成13年度教会行事予定説明(福島行事委員)

◆13年度は、特に大きな特別行事は無い。配布資料にて説明。

質疑応答

◆甲斐さんからの「職員給与」に関する補足説明: 従来、神父様の賄いの謝礼を職員給与として報告して来たが、税務上の問題から、教区指導が強化されて、雇用契約締結や給与台帳作成などの要求を受けるに至った。

当教会の場合は、専従職員ではなく、個人的な賄いの範囲であるので、教区の了解のもとに神父様の給与から神父様が個人的に払う形とした。

◆小谷さん: 年間予定表で、11/2の死者のためのミサが入っている。これは初めてのことで有り難いことだ。